

国立大学法人島根大学経営協議会（第103回）〈議事要録〉

日 時 令和2年1月23日（木）14：00～15：45  
場 所 本部棟5F大会議室  
出席者 服部学長，藤田理事，秋重理事，荒瀬理事，井川理事，吉田理事，宮脇理事  
有川委員，有澤委員，秦委員，大谷委員，谷口委員，大矢委員  
欠席者 泉委員，松浦委員，福島委員  
〔陪席：千家監事〕

議 題（1）第3期中期目標・中期計画の変更について

- 荒瀬理事から第3期中期目標・中期計画の変更について説明があり，原案どおり議決された。

議 題（2）令和元年人事院勧告に基づく職員給与規程等の一部改正について

- 藤田理事から令和元年人事院勧告に基づく職員給与規程等の一部改正について説明があり，原案どおり議決された。

議 題（3）令和元年度補正予算（第1号）（案）について

- 吉田理事から令和元年度補正予算（第1号）（案）について説明があり，原案どおり議決された。

議 題（4）令和元年度業務達成基準適用事業について

- 吉田理事から令和元年度業務達成基準適用事業について説明があり，原案どおり議決された。

議 題（6）放射線治療棟新設に係るPPP/PFI手法導入について

議 題（5）附属病院放射線治療棟新営及び放射線治療システムの更新について

- 議題6と議題5については関連があるため，あわせて審議された。
- 吉田理事から放射線治療棟新設に係るPPP/PFI手法導入について説明があり，続いて井川理事から附属病院放射線治療棟新営及び放射線治療システムの更新について説明があった。
- 学外委員から医療機器の更新については，より効率的に活用するために地域内での調整が必要との方針が打ち出されているため，県や周辺医療機関との連携をしてほしいとの要望があった。井川理事から周辺の医療機関には説明をしてまわりたいとの回答があった。
- 学外委員から財源の確保について，原案のとおり独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の施設費貸付事業を利用することが有利であり，健全な手法をとっているとの意見があり，原案どおり議決された。

報告事項（1）第102回国立大学法人島根大学経営協議会に係る書面審議結果について

- 学長から第102回国立大学法人島根大学経営協議会に係る書面審議結果について報告があった。

報告事項（2）平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について

- 吉田理事から平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

**報告事項（３）国立大学法人島根大学における教員個人評価に関する規則の一部改正、  
国立大学法人島根大学教員業績評価基準の制定  
及び国立大学法人島根大学における部局評価に関する規則の制定について**

- 吉田理事から国立大学法人島根大学における教員個人評価に関する規則の一部改正、国立大学法人島根大学教員業績評価基準の制定及び国立大学法人島根大学における部局評価に関する規則の制定について報告があった。
- 学外委員から教員業績評価の結果について、教員の処遇に反映されるのか確認があった。吉田理事から新たな年俸制については、業績年俸部分は評価によって毎年変動する仕組みで、昇給も評価を踏まえて3年ごとに反映する形であり、また従来の月給制の教員については年俸制の教員と仕組みは異なるが、評価結果を昇給や期末勤勉に反映させているとの回答があった。

**報告事項（４）令和２年度医学部入学定員増員計画について**

- 荒瀬理事から令和２年度医学部入学定員増員計画について報告があった。

**報告事項（５）令和２年度予算（案）の概要について**

- 吉田理事から令和２年度予算（案）の概要について報告があった。
- 学外委員から国立大学の予算について以下の意見があった。
  - ・ 運営費交付金は下げ止まりの傾向にあるが、使途が特定された予算が増加し、学長の裁量のある形になっていない。
  - ・ 成果を中心とする実績状況に基づく配分（共通指標による予算配分）について、かなりわかりやすく思い切ったことをやらないと評価されない。従来のやり方をしては、共通指標の評価は低下していく。
  - ・ 比較可能な共通指標を評価対象とすることで各大学におけるパフォーマンスを上げることが求められている。良いことではない面もあるが、対応していくしかない。
  - ・ 教員の業績評価については、自己評価報告書や根拠データを提出しない教員に対しては、かなり評価を下げることも必要ではないか。
- 学長から共通指標の項目に対する本学の今後の対策について、３月に開催する経営協議会で対応策を示したいとの説明があった。
- 学外委員から教員が外部資金を獲得した場合は、教員に反映する仕組みが必要であるとの意見があり、吉田理事から新たな年俸制では、上位区分の評価を受けた者については、間接経費の一定割合を給与として支給する仕組みを導入するとの回答があった。
- 学外委員から外部資金の間接経費を活用した教員給与へのインセンティブの導入等、教員のモチベーションを上げるような仕組みが必要であるとの意見があった。

**報告事項（６）キャンパスマスタープランの一部更新について**

- 吉田理事からキャンパスマスタープランの一部更新について報告があった

**報告事項（７）附属病院運営状況について**

- 井川理事から附属病院運営状況について報告があった。
- 学外委員から議題１に関連して、大学院において複数の研究科がある場合に、既存の研究科は改組せずに、独立した学位プログラムを立ち上げることができるようになっている。社会等の要請に応じた学位プログラムを立ち上げることが重要であり、導入を検討するよう意見があった。